

わたらせばし 渡良瀬橋

さくし
作詞

もりたかちさと
森高千里

さつきよく
作曲

さいとうひでお
斉藤英夫

うた
唄

まつうらあや
松浦亜弥

わたらせばし
渡良瀬橋(名)

在日本關東地方北部名叫栃木縣足利市的
地方，架於名叫渡良瀬川の河流之上。

ゆうひ あさひ
夕日(名)⇔朝日

とこ(名)=ところ

やくもじんじゃ
八雲神社(名)

供奉日本神話裏的素盞鳴尊，在日本有很多
多所八雲神社，單單在栃木縣足利市就有
5所了。

ねがごと
願い事(名)祈求。

かみさま
(1)神様に願い事をした。

ポツンと(副)水滴下的様子。單一地。

(1)単語だけポツンと書かれているコト

は、どう反応していいのかわからないか
ら困る。

(2)幸せの中にポツンポツンと不幸があ

ると、不幸の中にポツンポツンと幸
せがあるのと、どっちがいい？

(3)タクシーに乗って学内に入って行く

と、雑木林や野っ原の間にポツンポツ
ンと校舎が建ち、まるで欧米の郊外の
大学のよう。

(4)白樺の木がポツンと、朝日を浴びて
輝いています。

わたらせがわ
渡良瀬川(名)

河流長 106.7km、流域面積

2621km²。流經栃木縣、群馬縣、茨城
縣，是對日本經濟上重要的水源。

かわら
河原(名) 河床。

なが
流れ(名) 水流。

ほくふう なんふう
北風(きたかぜ)(名)⇔南風(みなみかぜ)

まちな
町並み(ちょうなみ)(名)街道的樣子。

やまやま
山々(名)這山那山。(副)很多。

かな
叶う(自) 成真。

(1)彼の恋はかないそうもない。

(2)願いがかなった。

かく
角(名・形動)Corner。

わたらせばし み ゆうひ
渡良瀬橋で見る夕日を、

あなたはとても好きだったわ。

きれいなとこで育ったね、

ここに住みたいと言った。

でんしゃ ゆ まち
電車に揺られ、この街まで、

あなたは会いに来てくれたわ。

わたし いま ころ
私は今もあの頃を、

わす いる
忘れられず生きてます。

いま やくもじんじゃ まい
今でも、八雲神社へお参りすると、

あなたのこと祈るわ。

ねが ごと ひと かな
願い事、一つ叶うなら、

ころ もど
あの頃に戻りたい。

とこ や かく
床屋の角に、ポツンとある、

こうしゅうでんわ
公衆電話、おぼえてますか。

おも
きのう思わずかけたくて、

じゅわき
なんども受話器とったの。

あいだ わたらせがわ かわら お
この間、渡良瀬川の河原に降りて、

なが み
ずっと流れ見てたわ。

きたかぜ つめ
北風がとても冷たくて、

かぜ ひ
風邪を引いちゃいました。

だれ
誰のせいでもない、

あなたがこの街で、

く
暮らせないことわかってたの。

なや
なんども悩んだわ。

わたし
だけど私ここを、

はな く で き
離れて暮らすこと出来ない。

す
あなたが好きだと言った。

まちな きょう く
この町並みが、今日も暮れてゆきます。

ひろ そら とお やまやま
広い空と遠くの山々、

ふたり ある まち
二人で歩いた街、

ゆうひ まち
夕日がきれいな街。